



校長室だより

学校と家庭・地域を結ぶ架け橋通信

第1号 令和3年4月16日

小美玉市立美野里中学校

今年度、校長として赴任いたしました皆川修（みなかわ おさむ）と申します。よろしくお願いいたします

まずは、私の人となりを知っていただければと思いますので、簡単に自己紹介をさせていただきます。

保護者・地域の皆様方にも、PTA活動や部活動応援、各種会合等でお会いしたときには、「同じ趣味だよ。」とか「校長室だよりを読んで私はこう思います。」などと気軽にお声がけいただければ、大変嬉しく思います。

水戸生まれ。水戸育ち。

大学受験一浪中、東京の新聞店に奨学生として住み込み、朝夕新聞を配りながら予備校に通う。大学在学中から、バックパッカーにはまり、リュックを担いで単独いろいろな国（インド・中国・タイ・インドネシアなど）を旅した。

教員のスタートは、鉾田町立鉾田小学校。後に仲人までしていただいたおおらかな校長先生に出会い、大いに影響を受けた。その校長先生が、茨城県オリエンテーリング協会の会長だったこともあり、半強制的に入会。野山を駆けまわったり、フィールドの地図を作ったりすることに没頭した。

小美玉市に赴任したのは、教頭になったとき。野田小学校で4年間勤める。新任校長として、鹿島神宮・アントラースのお膝元 鹿嶋市立鹿野中学校で2年間勤めた後、昨年まで玉里東小学校に勤務。現在に至る。

宝物は、教員生活を通じて出会った教え子を含め、様々な人たちとの関わり。

趣味は、そば打ち、硬式テニス、卓球、散歩、読書、美術館・歴史館・博物館見学、映画鑑賞、スポーツ観戦など多数。新しいもの・珍しいもの好きで、好奇心旺盛。

私は水戸五中卒業なのですが、本校第3代校長の青木剛順先生は、美野里中で7年間校長職を勤められた後、水戸五中に赴任され、荒れた学校をたて直してくださいました。その教育実践は、青木先生の著書『校長の応援歌』に記されていますが、当時のPTA会長が私の父でありました。私が美野里中に赴任したのは、不思議なご縁を感じます。

私の教育信条は、「子供たちの自立を支える」ことです。この校長室だよりは、思春期のお子様たちを、学校・家庭・地域が一体となって健やかに育てていくために、「考える」きっかけとなることを目的にしたいと思います。

子供たちの健全育成のためですので、この校長室だよりをきっかけに、子育てについて議論を高めていただき、私にもご意見を頂戴できればと思います。

次号では、「思春期」について考えてみたいと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

